



2016年1月14日

各位

会社名 株式会社ユーシン
代表者名 代表取締役会長兼社長 田邊 耕二
(コード番号:6985 東証第一部)
問合せ先 経理財務本部長 田尾 和也
TEL:03(5401)4660

業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

2015年1月13日に公表しました2015年11月期(2014年12月1日～2015年11月30日)の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2015年11月期通期連結業績予想数値と決算値との差異(2014年12月1日～2015年11月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	160,000	5,000	3,400	2,000	円 銭 75 28
実績値(B)	164,229	4,715	2,176	226	8 49
増減額(B)-(A)	4,229	△284	△1,223	△1,773	—
増減率(%)	2.6	△5.7	△36.0	△88.7	—
(ご参考)前期実績 (2014年11月期)	155,985	3,075	1,057	△433	△15 18

2. 差異の理由

国内各拠点及び海外のうち中国、米国、メキシコ等において生産・出荷が好調に推移する一方、タイ、ブラジル、ロシア等では現地の社会・経済情勢の影響を受けて業績が伸び悩みました。そのため、売上高は予想を上回ったものの、営業利益は予想を下回りました。

経常利益に関しては、営業外損益において、通貨スワップ評価益1,718百万円を計上する一方で、為替差損2,916百万円が発生しました。これは、ユーロの下落で当社が保有する通貨スワップに為替ヘッジ効果として評価益が生じる一方で、ヘッジ対象である当社から欧州子会社向けの貸付金等に為替差損が生じたこと、また、人民元の切り下げや新興国通貨の下落に伴って、中国、ロシア、ブラジル等の子会社が保有する外貨建て営業債務等に為替差損が生じたことによるものです。

このように、営業利益が予想を下回ったことに加えて、為替差損等の営業外費用の増加により、経常利益が予想を下回りました。同様に当期純利益も予想を下回っております。

以上